

循環器屋のオヤジになりたい

去る 10 月のある日、伊勢赤十字病院時代の盟友、心臓外科、徳井俊也先生から電話を頂き、この襷を繋ぐことになりました。徳井先生とは、不思議な縁があるようで、この 8 月に亡くなった私の父を看取って頂きました。父は 2015 年 8 月に橋梗塞を発症、急性期は鈴鹿中央病院にお世話になり、その後、津市河芸町にある老健施設、いこいの森にお世話になっていたのですが、4 月に徳井先生がいこいの森に来るのを待っていたかのように、8 月 2 日に 97 才で亡くなりました。その死亡診断書に、「徳井俊也」という大きな見慣れた字の署名を見つけたとき、何だか嬉しくなりました。父は 10 年の闘病生活でありましたが、いこいの森で、東先生、井村先生、水元先生、そして徳井先生に丁寧な診て頂いて、褥瘡一つ作らず、安らかな顔をして、逝くことができました。

私は、1984 年に三重大学を卒業し、神戸の病院で二年間の内科研修の後、三重大学第一内科に入局いたしました。当初より循環器内科志望で、大学院時代は運動生理をやっていたのですが、神戸の研修医時代に触れた心臓電気生理学に強く惹かれ、大学院卒業直後の 1991 年に松阪市民病院で心臓電気生理学を始め、国立循環器病センターで鎌倉史郎先生に週 1 日、教えてもらっているうちに、カテーテルアブレーションの黎明期を迎えました。1998 年にフランスの Rouen 大学へ留学し、Nadir Saoudi 先生に心臓電気生理学とワインのことを教えてもらいました。人生の楽しみ方についても少し教えて頂けたように感じています。Rouen は、パリのサンラザール駅から S NCF(日本の JR)の Le Havre 行きに乗り、セーヌ川に沿って一時間半くらいのところにあるノーマンディの田舎町です。パリと Rouen の間に、ジベルニというモネが晩年アトリエを構えた小さな町があり、サンラザール駅も Rouen のノートルダムも、モネによって美しく描かれています。Rouen に初めて向かうとき、サンラザール駅の券売所で、Rouen までの切符を注文したのですが、終点の Le Havre までの切符が出てきました。僕の「R」の発音がまずかったため、正しい切符を手に入れるのに 10 分以上かかりました。最初の半年は、一人だったので、臨床研究も随分進んだのですが、家内と二人の息子（4 才と 2 才）が来てからは、あまり進みませんでした。Nadir に年代もののフォルクスワーゲン、ポロを借りて、週末には日帰りで、英仏海峡沿いのオンフルールとかエトルタヘシーフードを食べに行きました。小さい子供を連れていたので三つ星レストランへは行けませんが、ブラッスリーやカフェでも、バケツ一杯のムール貝とか、美味しいものはいくらでもありました。学会と絡めたりしてまとまった休みが取れるとレンタカーを借りて、サンマロ、モン・サン・ミシェル遠征、ブリュッセル、ブルージュ遠征、マーストリヒト遠征、バルセロナ遠征、コートダジュール、ピサ、フィレンツェ遠征、アルザス遠征をやってしまいました。当時は治安もよく、円も随分強かったため、二人の幼い息子を、ブジョーヤルノーの後部座席に

詰め込んで、フランス、ベルギー、オランダ、スペイン、イタリアの田舎町で、ミシュランガイドで見つけた二つ星ホテルに泊まり、ホテルで地元の人が行くようなブラスリー（イタリアだとトラットリア）を紹介してもらって夕食をとり、旅を続けるのは、この上なく楽しかったです。家内は、よくあの頃が一番よかった、というのですが、今は全然良くないと言われているようで、複雑な気持ちです。帰国後、2000年7月から伊勢赤十字病院で、心臓電気生理学、カテーテルアブレーション、デヴァイス治療に取り組みました。この3月に定年退職し、津に帰り、現在は武内病院にお世話になっています。伊勢での24年間は、ほぼ、循環器疾患しか診ておらず、10年以上入院患者の受け持ちもしていないので、内科医として仕事をするのが不安だったのですが、武内病院には、最新鋭のCT、MRIがあり、かつ放射線技師さん、臨床検査技師さん、臨床工学士さんの強力なサポートもあり、「オレ、結構、一般内科やれるじゃん」と錯覚してしまっています。

漠然とですが、「晩年は、バイク好きのオヤジがバイク屋をやるようなイメージで、循環器屋をやってみたい」という思いがありました。「あの先生、今はこんなやけど、若い頃はカテーテルの手術が上手かったらしい」と患者さんに言ってもらいながら、コンパクトな循環器クリニックをやってみたい、という思いです。つい先日、TTC医療モールの中森先生が閉院されるとお伺いし、後をやらせて頂くことにしました。中森先生が30年大切に使ってこられたクリニックはキレイで、初期投資を抑えたい私には打ってつけです。95才の母に、「そんないい年をして開業したら、病気になってしまう。自分より早く死んだら嫌や」と言われたので、肩の力を抜いて、ゆっくり10年やってみようと思っています。名称は「かさい心臓・血圧クリニック」です。何でも診させて頂くつもりですが、24年間循環器疾患ばかり診てきたので、「僕は、心臓の医者やからなあ、わからんわ」と患者さんに言い訳ができるように心臓・血圧クリニックにしました。

2026年6月から、本当の意味で、津医師会の先生がたの仲間に加えて頂きたいと存じます。津は生まれ、育ち、学んだ地ですので、最終ステージで津の医療に貢献できることに、大きなやりがいを感じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

次回、2月号は、武内病院整形外科部長の高北先生をお願いいたしました。武内病院整形外科は、この4月に二枚替えだったので、高北部長は大変ですが、ラッキーなことに、もう一枚の、樋口くんが若くて働き者で有能です。武内病院整形外科はぐんぐん伸びるように思います。